

ベトナムハロン湾水質改善に挑む

クアンニン省行政官が滋賀県、岡山県で日本の環境保全経験を学ぶ

独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）は技術協力プロジェクト「クアンニン省ハロン湾地域のグリーン成長推進プロジェクト」の一環として8月25日から9月2日まで、ベトナム国別研修「グリーン成長促進」研修プログラムをベトナムクアンニン省人民委員会、計画投資局、天然資源環境局等から10名の行政官を招聘し実施します。

ベトナムクアンニン省に位置するハロン湾は世界遺産（自然遺産）に指定されており観光名所として有名ですが、近年沿岸地域の急激な開発により産業排水の流入による水質悪化が顕在化しています。そのため沿岸の環境保全推進はクアンニン省にとって急務となっています。

滋賀県では琵琶湖モデルを事例とした水質改善を学ぶとともに県下最大の下水処理場を訪問、岡山県備前市日生（ひなせ）地区では行政と住民、漁業者が協力して里海*づくりを進める事例を研修します。

クアンニン省は経済発展と環境保護を両立しつつ自然の資源・環境を維持したグリーン成長促進を目指しています。日本の環境保全経験がハロン湾沿岸の水環境の改善に活かされることが期待されます。

注：里海（さとうみ）とは、沿岸海域のうち、人手が加わることで生物生産性や生物多様性が向上した地帯をいう。

*取材時日本語⇄ベトナム語通訳が入ります。ぜひ取材をご検討下さい。

取材可能プログラム日程

8月29日（水） 備前市日生町漁業協 同組合	11:00-12:00 講義：日生における里海づくりの取り組みについて 13:00-15:00 見学：漁業関係者との意見交換及び視察見学
8月31日（金） 滋賀県南部流域下 水道事務所	9:30-11:00 下水道施設見学 琵琶湖に流入する汚水を処理する県内最大の下水道処理施設です。滋賀県の琵琶湖富栄養化防止条例の施行に伴って、窒素、リンを除去する3次処理をいち早く取り入れた施設。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第1課、宮下 えりこ

TEL 078-261-0383 e-mail : Miyashita.Eriko@jica.go.jp